



みどりの風

令和4年3月1日発行
校報 594号
(みどりの風 137号)
練馬区立関町北小学校

すべての皆様に感謝

学びに向かう力（メタ認知）を「節目でさらに伸ばす」関北の子にしていく

校長 吉川 文章

令和3年度の締めくくりを迎えました。今年度も、近代の人類が相対したことの無い未曾有の敵との戦いに終始した1年間でした。教育界においても同様。数限りない初めての問題、課題への対応がありました。そのような中、本校においては、保護者の皆様から多大なご理解ご支援を賜りましたことが、我々教職員の「何よりの心の支え」となりました。本来は、PTA運営委員会などの機会に直接お礼を伝えるところでしたが、蔓延防止等措置の延長に伴い、文書配布となりました。学校の代表として心から御礼を申し上げます。「どうもありがとうございました」

さて、節目の3月の締めくくりに際して、子供たちには以下の講話を行い新年度への期待を膨らませると共に、意欲を喚起してまいります。

「竹の節目」

ここに1本の竹の絵があります。竹は、短い間にびっくりする位に成長し天に向かってまっすぐ伸びるので、昔から人が成長するシンボルとも言われています。竹は、1日に1メートル以上伸びる事もあります。これは、他の植物にはありません。竹だけなのです。どうして、こんなに成長できるのでしょうか。秘密は、この部分にあります。この呼び名を「節目（ふしめ）」と言います。竹は、この節目があるから、枝分かれをすることなくまっすぐに伸びるのです。雪が積もった時は、体を「くの字」に曲げて耐え抜き、簡単に折れることはありません。「節目」があるからです。

同じようにみなさんの生活にも節目があります。この節目を大切にすると人は、短い期間にびっくりするような変化をします。今まで漢字が苦手だった人が得意になったり、人前に出るのが苦手だった人が、積極的に発表できるようになったり、道具箱の整理が上手になったり、朝、自分から起きられるようになったり。

この変化が一番現れるのが4月の新学期なのです。心当たりのある人も大勢いると思います。それは、一年間で一番短いけれど大きな春休みという節目を大切に過ごしたからなのです。終業式に先生方から通知表をいただきます。この一年間を振り返り、新学期に向けた心の準備をしましょう。必ず、4月には変身しているみなさんと会えることを楽しみにしています。

5年生のみなさん。節目の春休みを大切に過ごし、最高学年としてのやる気に満ちあふれ入学式の準備に来てくれることを心待ちにしています。6年生。小学校生活の6年間。いや、この世に生まれてからの12年間のうちで、最大の節目が卒業式です。何の心配もありません。小学校生活の集大成を明日の卒業式で堂々と表現してください。

学校では、様々な場面で発信をしています通り、「学びに向かう力（メタ認知）」を高める絶好の機会が「節目にこそある」とあらゆる場面で具体的な評価をするとともに「メタ認知」への価値付けを工夫しています。それぞれの家庭でも、子供たちが進級・進学のお励みになる声かけをお願いいたします。

今後も、手を携え、子供たちの学びに向かう力（メタ認知）を高めていきましょう

今年度の教育活動へのご理解ご協力ご支援心から感謝申し上げます。次年度もどうぞよろしく願いいたします。